

REPORT

PLAYRO 70

Special Issue

幼稚園 [50周年記念 教職員×卒園生 特別対談]

筑紫女学園大学 附属幼稚園50周年

- 大学／就職・進路状況
教員採用試験・国家試験合格状況
- 高等学校／進路状況報告
- 決算報告
- 卒業生インタビュー
- 人事
- 法海(こころに響くことば)

Special Issue

幼稚園

[50周年記念 教職員×卒園生 特別対談]

筑紫女学園大学 附属幼稚園 50周年

今年で創立50周年を迎える
筑紫女学園大学附属幼稚園。
約30年にわたり、園で子どもたちの成長を
見守ってきた藤村かおり先生と、
ご自身も卒園児で、今は2人のお子さんを
園に通わせている内田秀人さんに、
これまでの思い出や未来に向けての
お話を聞かせていただきました。



伸び伸びと遊ぶ中で 自信が育まれていった

内田:先生のクラスでお世話になったのが、約30年前になるとは、懐かしいです。私は本来、年少から入園予定でしたが、当時は体が小さくて性格も内気だったため、年中から入園することになったと聞いています。

藤村:ええ、よく覚えています。背の順で並ぶといつも先頭で、すぐにつぶらな瞳を涙でいっ

ぱいにしてしまう甘えん坊さんでした(笑)。私も入職したばかりで、担任の経験も浅かったため、なおさら印象深いです。

内田:私がおとなしかったというのもあると思うんですが、これといって怒られた記憶はあまりないですね。ただ、友だちと10人くらいで雨樋から落ちてくる雨を飲んでいたときにはさすがに怒られて驚きましたね。

藤村:内田さんは、お友だちとぶつかったときに「一生懸命、気持ちを伝えてみよう」と話し

たら泣いちゃうような繊細な子でしたね。でも運動会で先頭隊長として整列や踊りを頑張っていたことをとても褒めたら自信がついたのか、そのあたりから少しずつ変わっていったんですよ。

内田:覚えてないなあ(笑)。でも、先生方は一人一人をよく見て自主性を尊重してくださっていたのだな、と今になってすごく感じます。だからこそ、少しずつできることが増えて自信がついたのかもしれない。



◎ 筑紫女学園大学附属幼稚園 50周年までの歩み

1972 (昭和47年)

筑紫女学園短期大学
附属幼稚園として開園



遊戯室で行われた第1回
入園式

1975 (昭和50年)

3歳児クラス増設



1994 (平成6年)

開園20周年を機に
制服をモデルチェンジ



2003 (平成15年)

新制服(3代目)導入



2005 (平成17年)

筑紫女学園大学短期
大学部附属幼稚園へ
名称変更

2006 (平成18年)

子育て支援の一環として
降園後の預かり保育「たけのこクラブ」や
未就園児クラス「たんぼぼ」を開始

楽しかった幼稚園時代を 息子たちにも体験させたい

内田:今は4歳と2歳の息子も入園して、先生にお世話になっていることにご縁を感じます。

藤村:長男さんが入園する前に、見学にいらして下さったんですね。息子さんの顔を見た瞬間、内田さんが幼い頃と瓜二つで、もしかして……と名簿で名前を確認したら「やっぱり!」と、びっくりしました。

内田:私の下には妹が2人いて、彼女たちも筑女幼稚園に通っていたので卒園後もたまに顔は出していましたが……それでも30年くらい間が空いているのに、顔と名前を覚えてくださっていたなんて驚きました。

藤村:担任した子どものことは顔も名前も性格もよく覚えています。内田さんのように親子2代で通ってくださる方は多くて、長く勤めている身としては光栄ですね。

内田:ほかの幼稚園にも見学に行ったんですが、中には勉強をさせるような園もありました。でも、自分がそうだったように、息子たちには園ではとにかくたくさん遊んでほしいと思ったんです。だから、やっぱり「筑女幼稚園しかない!」と入園を決めました。

藤村:それが伝わっているのはすごくうれしいですね。園では「体験」を大事にしています。遊ぶときも「今日はこれをします」と与えるのではなく「今日は何をしようか?」と子どもたちに考えさせます。そうすることで自主性や創造性を学ばせたいと思っていますんですよ。

内田:息子たちは、園に通い出してから「あり



がとう」「ごめんなさい」が言えるようになったり、ご飯をよく食べるようになったり、大きな変化が生まれたと感じていますね。

藤村:浄土真宗の教えに基づいた、筑女幼稚園「4つのお約束」がちゃんと身に付いているんですね。それもうれしいことです。

●4つのお約束

「みほとけさまをおがみます」

「いつもありがとうといえます」

「おはなしをよくききます」

「みんななかよくいたします」

忘れられない体験や景色は 今も昔も変わらないまま

内田:先生がおっしゃった「体験を大事にしている」というのは、今思い起こすと「確かに」と感じる事だらけです。芋掘りに夏祭りに花まつり、運動会に発表会と、とにかくたくさんの経験をさせていただいたし、全てが忘れられない思い出として記憶に残っています。この数年はコロナ禍で制限があるものの、今も続いている行事がたくさんあって感慨深いです。

藤村:当時からは多少形が変わったものもありますが、それでも体験を大事にする方針は変わっていません。

内田:変わらないものといえば、坂道も(笑)。

藤村:園の建て替えや中高のテニスコートの増設でちょっとだけ道のりが長くなったんですが、その分、勾配は少しだけ緩くなりました(笑)。でも確かに「坂の上にある」っていうところは、昔も今も変わらずですね。坂道を歩く子どもたちからは、日々たくましく成長していく様子を感じられますね。

内田:そうそう、園は建て替えたんですね。

藤村:昔と変わらず、園庭を囲むようなコの字型で、保育室は1階にあるからどの部屋からも園庭にすぐに出られるようになっています。年少から年長まで、いろいろな年齢の子が混ざって遊ぶことで、園児たちの支え合いや成



長も見られるんですよ。内田さんの息子さんも、1学年下の子のお世話をよくしてくれています。

内田:それは知らなかった!褒めておきます。

何度も通った園までの坂道を 親子3世代で歩く日も

内田:私は小学校に進学してから教科書を読むのが全く苦じゃなかったんですよ。それは先生が絵本の読み聞かせをしてくださっていたから、本を読むことへの抵抗がなかったんじゃないかと思っています。息子たちも同じように育ててほしいし、園で楽しみながら「人間力」や「生きる力」を学んでもらえたら幸せですね。

藤村:そうですね。長い年月の中で形が変わっていくものもちろんありますが、子どもたちへの思いは30年前から全く変わっていません。そうそう、10年前から6年生の卒園児たちの同窓会を開くようになって、コロナ禍ではオンラインに切り替えたんですよ。みんなで集まれないことは残念でしたが、遠方に引っ越ししてしまった子も参加できる良い変化も感じられました。これからも変わらないところと変わっていくところのバランスをとりながら、もっと良い園にしていきたいです。

内田:長い歴史がありますから、もしかしたら私の孫もお世話になるときがくるかもしれません。私が感じていた魅力はそのままで、今度は100周年に向かって新しいことにもどんどん挑戦していただきたいと思います。



2016 (平成28年)

筑紫女学園大学附属幼稚園へ名称変更

2018 (平成30年)

園歌「みんながたからもの」完成



作曲は、シンガーソングライターで保護者(当時)の池上ケイさん、作詞は、日本レコード大賞作詞賞を受賞されている松井五郎さん

2019 (平成31年/令和元年)

昭和47年開園時からの園舎を建て替え



2021 (令和3年)

全クラスプロジェクター配置





50周年に寄せて

筑紫女学園大学附属幼稚園にゆかりのある方々からお祝いのメッセージをいただきました。



前園長
(平成26年度～令和元年度)
はちや しゅんいちろう
八谷俊一郎さん

新たな園舎と園歌に思いを馳せて

「園舎を完成させるように」との使命を受けて赴任しました。5年目の3月に理想に近い形で無事に竣工するまで、喜怒哀楽の連続だったことを覚えています。また、有名な作詞家の松井五郎先生のご協力のもと、親しみのある園歌が完成したことも忘れられません。素直な子どもたちや優秀な先生方と思い出の多い6年間を過ごすことができました。



学校法人呉学園
日本デザイナー学院九州校
副校長(卒園児保護者)
ふじい ひでしげ
藤井秀重さん

園の思い出に支えられる日々

筑女幼稚園にご縁をいただいてから40年近くなります。孫を園まで送迎したり、園の行事に参加したりするときは前日から胸がドキドキワクワクします。今も昔も変わらない、先生方の園児に対する一生懸命な姿には感動させられてばかりです。ここでできたたくさんの思い出は私たち家族の希望であり、勇気であり、生きる力であり、大切な宝物となっています。



作詞家
まつい ごろう
松井五郎さん

園歌にたくさんの思いを込めて

筑紫女学園大学附属幼稚園創立50周年おめでとうございます。人は誰も子どもでなかった人はいません。「みんながたからもの」は、園児たちが大人になっても思い出してくれる歌になればという思いで書きました。園歌の作詞のお話をいただき、幼稚園に伺った日の坂道や木洩れ日を思い出します。元気な歌声がこれからもあの青空に響きますように。



シンガーソングライター
(卒園児保護者)
いけがみ
池上ケイさん

50周年を新たな飛躍の出発点に

創立50周年、心からお祝い申し上げます。また、3人の子どもたちの在園時には、園長先生をはじめ諸先生方から熱心にご指導いただいたことを、改めて感謝申し上げます。50周年を新たな飛躍の出発点とし、ますますの発展を心から願い、お祝いの言葉といたします。これからも、この場所からたくさんの子どもたちの宝物が見つかりますように。



書道アーティスト
(平成17年度卒園生)
なかむら
中村ふくさん

かけがえない日々感謝

このたびは、創立50周年おめでとうございます。私が筑女幼稚園を卒園したのはもう16年も前のこととなりますが、園で過ごした日々は今でも昨日のこのように覚えています。かけがえない思い出がたくさんできました。先生方が私たちを笑顔でいっぱいにしてくださったように、私も「書」を通じてたくさんの人を笑顔にしていきたいです。



元幼稚園教諭(現在は保護者)
かたざし ゆうこ
片岸祐子さん

先生方の姿はパワーの源です

10年ほど職員として携わった筑女幼稚園に、今は保護者としてお世話になっています。子どもたちの目がいつも輝いているのは、子どもが夢中で楽しんだりやってみたいことに向かって挑戦したり、心と体をたくさん動かしているからだと思います。そして、子どもに負けにくい元気とワクワクいっぱいの先生方の姿は、私のパワーにもなっています。



令和3年度保護者会会長
かとう ようこ
加藤陽子さん

わが子の優しさは筑女で育まりました

50周年、おめでとうございます。ここ数年、コロナ禍で大変な状況が続いていますが、今できる限りの経験を子どもたちにしなさいという考えのもと、先生方の工夫で行事や日々の保育をしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。筑女幼稚園に通ったおかげで、わが家の3人の子どもたちは思いやりのある優しい子に育ってくれていると感じます。



令和4年度保護者会会長
しが かおり
志賀香織さん

筑女に通えて良かったと実感

創立50周年、誠におめでとうございます。自然との触れ合いの中で、お友達とのびのび遊べる筑女幼稚園。子どもたちは目を輝かせ、いつも笑顔に溢れています。貴重な幼少期を筑女幼稚園で過ごすことができるとも良かったと実感しております。子どもたちの些細な変化にも気づき、優しく、温かく見守ってくださる先生方に感謝しております。

令和4年度保護者会副会長
とじま みか
戸嶋美佳さん

令和4年度保護者会副会長
うえむら とみ
上村友見さん



未来ビジョン

50年目の決意と未来へ向けて、實藤浩一園長からのメッセージを紹介。50周年を記念した限定グッズにも注目です。



筑紫女学園大学附属幼稚園
さねふじ こういち
園長 實藤浩一

「子どもが一番、子どもが真ん中、子どもに真っすぐ」
合言葉を胸に、未来に向かって歩んでいきます



昭和47年に筑紫女学園短期大学に幼児教育科が開設されたのを機に、筑紫女学園中学校・高等学校の高台に附属幼稚園が開園されました。開園当初は、定員計100名でしたが、在籍園児数は、計40名でした。昭和50年から3歳児クラスが始まり、平成18年度からは子育て支援の一環として「たけのこ(預かり保育)」「たんぼぼ(未就園児)」を開始しました。そして平成31年に新園舎が完成。広い園庭には大型の複合遊具や亀の池を設置し、令和3年、裏庭に実なる樹木(16種類)を植栽しました。昭和～平成～令和と3つの時代の中で、幼稚園で学び、巣立っていった園児たちは、4,400名を超えました。

福岡市の市街地にありながら、恵まれた自然環境の中に立地している園には、毎日元気な子どもたちの声が響いています。子どもたちは、時間の枠に縛られることなく好きな遊びに没頭し、夢中になっています。園生活の中では、バケツ稲作、泥だんご、竹馬、運動会のソーラン節、季節の生き物や植物探し、絵本を題材とした発表会、味噌づくり、カプラなどの遊びや活動を体験し、日々「遊ぶこと」が「学ぶこと」につながっています。また、各教室に1台ずつ設置したプロジェクターや遊戯室の大型スクリーンなど、近年はICTを利用した活動も増えました。子どもたちの活動の情報発信やオンラインによるクラス懇談会・同窓会なども実施しています。

次のステージに向かって、全教職員は、「目の前の子どもたちにとって、何が一番大切な」を常に考え、「子どもが一番、子どもが真ん中、子どもに真っすぐ」を合言葉に、子どもたちが「幼稚園って楽しいなあ。明日も行きたいなあ」と思えるような幼稚園を目指して保育指導に当たっていきます。

筑紫女学園大学附属幼稚園歌 みんながたからもの

作詞 松井五郎
作曲 池上ケイ

一、風は森から吹いてくる
声はきらきらあふれてる

いつも坂道君がいて

どんな笑顔も嬉しくて

青空大好き 木漏れ日大好き

いろんな大好き集めよう

みんながみんながたからもの

二、花はいつでも咲いている
蝶はひらひら遊んでる

いつも優しい君がいて

どんな笑顔も眩しくて

お絵描き大好き お話大好き

いろんな大好きここにある

みんながみんながたからもの

三、羽は自由に羽ばたける
夢はふわふわ浮かんでる

いつも元気な君がいて

どんな笑顔も楽しくて

駆けっこ大好き 泥んこ大好き

いろんな大好き集めよう

みんながみんながたからもの

♪ こちらのURLから園歌を聴くことができます。♪
♪ https://www.youtube.com/watch?v=9_Dr_P6Maos



50周年を記念した限定グッズ



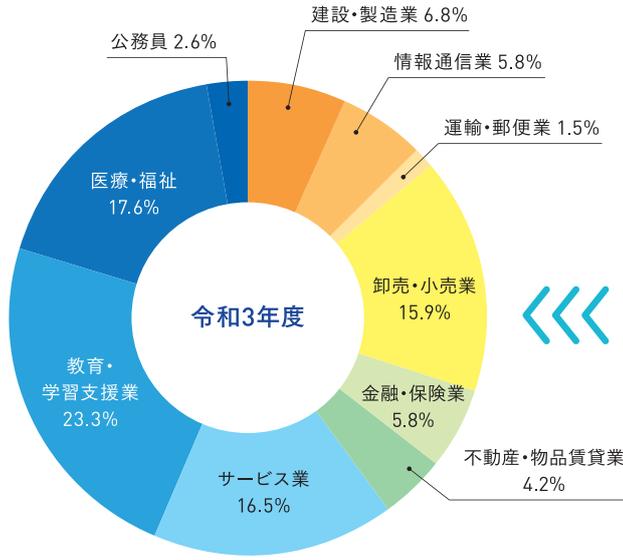
クリアファイル

自然に囲まれた園舎がモチーフ。子どもたちが笑顔いっぱい青空の下を走り回っている様子を、かわいらしくデザインしました。また、たくさんの方々に園歌を身近に感じてもらえるよう、裏面には園歌「みんながたからもの」の楽譜と歌詞を載せています。ぜひ口ずさんでみてください。



トートバッグ

大きくプリントされた男の子と女の子の顔は、幼稚園の入り口にある看板でおなじみのイラスト。お弁当を持ち運べるくらいの小ぶりなサイズ感です。裏面は無地になっていて、普段使いもしやすいシンプルなデザインは、早速皆さまからご好評をいただいています。



文学部

学科	業種	割合
日本語・日本文学科	建設・製造業	9.2%
	卸売・小売業	20.0%
	サービス業	23.1%
	教育・学習支援業	20.0%
英語学科	卸売・小売業	25.3%
	金融・保険業	12.1%
	サービス業	23.2%
	教育・学習支援業	10.1%
アジア文化学科	建設・製造業	11.9%
	卸売・小売業	22.4%
	サービス業	26.9%

人間科学部

●心理・社会福祉専攻

コース	業種	割合
発達臨床心理コース	卸売・小売業	20.9%
	金融・保険業	7.0%
	サービス業	11.6%
	教育・学習支援業	7.0%
	医療・福祉	25.6%
社会福祉コース	卸売・小売業	7.1%
	教育・学習支援業	7.1%
	医療・福祉	67.9%

●初等教育・保育専攻

コース	業種	割合
初等教育コース	卸売・小売業	2.8%
	サービス業	5.6%
	教育・学習支援業	86.0%
	医療・福祉	2.8%
幼児保育コース	教育・学習支援業	35.5%
	医療・福祉	54.4%
	公務員	6.3%

現代社会学部

学科	業種	割合
現代社会学部	建設・製造業	16.5%
	情報通信業	14.3%
	卸売・小売業	23.1%
	サービス業	21.9%

新卒求人倍率は前年の1.53倍から本年1.50倍と微減しましたが、本学の就職率は全学科・コースにおいて前年度を上回る結果となりました。

①採用選考のWEB化がより顕著になり、説明会やセミナーはオンラインが主流になりました

学生は時間の制約が少なくなり、交通費負担も軽減されているため、活動量は全体として増加傾向にありました。

②業界・企業規模によって採用動向に差がありました

中小企業、飲食・観光関連企業は採用意欲を取り戻せず、採用予定数が減少しました。また、現状として航空系は2023年卒より一部回復基調となりました。

③学生の不安として「他の就活生との接触がないこと」「周囲と足並みを揃えられないこと」が多くあげられました

他の就活生との接触、OBとの接触、他の内定者との接点を得ることが難しく、そこに不安を抱く学生が多い傾向にありました。

2023年卒対象の就活ガイダンスではオンラインライブでチャット機能を活用し、状況や不安を参加者間で共有したところ、「安心できた」という感想が多数得られました。

▶令和3年度 進路状況

学部・学科	卒業生数 (A)	就職				
		希望者 (B)	就職者 (C)	就職率 (C/B)		
文学部	日本語・日本文学科	84	76	74	97.4%	
	英語学科	130	102	101	99.0%	
	アジア文化学科	87	77	76	98.7%	
人間科学部	心理・社会福祉専攻	発達臨床心理コース	65	48	45	93.8%
		社会福祉コース	32	29	29	100.0%
	初等教育・保育専攻	初等教育コース	76	73	73	100.0%
		幼児保育コース	82	80	80	100.0%
現代社会学部	現代社会学部	113	96	95	99.0%	
計		669	581	573	98.6%	

※令和2年度全体就職率:94.4%

▶令和3年度 卒業生の主な進路実績 (令和4年5月1日現在)

● 九電産業	● 末松九機	● ワタナベエンターテインメント	● (独)国立病院機構
● 東ソー	● イオン九州	● 四季	● 麻生飯塚病院
● GSユアサ	● イワタニカセットフー	● 近鉄エクスプレス	● (独)地域医療機能推進機構
● リコージャパン	● 三菱電機住環境システムズ	● 大分県立学校	● エフコープ生活協同組合
● サニックス	● 楽天銀行	● 熊本県立学校	● 福岡県信用農業協同組合連合会
● 吉野石膏	● 西日本シティ銀行	● 佐賀県立学校	● 警視庁
● VSQ	● 福岡銀行	● 長崎県立学校	● 福岡県
● シアトルコンサルティング	● 住友生命保険(相)	● 横浜市立学校	● 福岡県警察
● マイナビ	● 明治安田生命保険(相)	● 産業医科大学	
● 佐賀シティビジョン	● 西鉄不動産	● 大阪府立学校	
● 西鉄エアサービス	● 東急コミュニティー	● 福岡県立学校	
● キンヤ	● 九州地理情報	● 福岡市立学校	
● 西原商会	● オリックスホテルマネジメント	● 北九州市立学校	
● 南国フルーツ	● ハウステンボス	● (医)徳洲会 福岡徳洲会病院	

令和3年度 教員採用試験・国家試験合格状況

▶令和3年度 教員採用試験・国家試験結果一覧

校種	受験先	受験者数	合格者	合格率	一般合格率
小学校	福岡県	23	20	87.0%	78.6%
	福岡市	11	8	72.7%	60.8%
	北九州市	1	1	100.0%	58.3%
	佐賀県	11	10	90.9%	74.3%
	熊本県	2	2	100.0%	76.1%
	熊本市	3	1	33.3%	54.1%
	大分県	2	2	100.0%	76.0%
	長崎県	4	2	50.0%	71.3%
	大阪府	1	0	0.0%	29.9%
	横浜市	1	1	100.0%	41.5%
	東京都	1	0	0.0%	42.7%
	合計		60	47	78.3%

校種	受験先	受験者数	合格者	合格率	一般合格率
中学校	福岡県	14	7	50.0%	40.8%
	福岡市	2	1	50.0%	37.7%
	北九州市	1	0	0.0%	17.9%
	熊本市	1	1	100.0%	23.0%
	大阪府	2	2	100.0%	23.0%
	京都府	1	0	0.0%	17.1%
	特別支援学校	福岡市	1	1	100.0%
	熊本県	1	0	0.0%	27.2%
	大分県	1	0	0.0%	45.5%
合計(実数)		24(22)	12(11)	50.0%	
社会福祉士		27	15	55.6%	31.1%
精神保健福祉士		4	3	75.0%	65.6%

※複数の自治体を受験した受験生がいるため、受験者総数が受験者実数を上回っている。

小学校教諭については昨年在極めて高かったため前年比減となりましたが、西日本でもトップクラスの合格状況となりました。
福祉系2種については昨年比・全国平均を大きく上回る合格状況となりました。



やかべ あやか 矢ヶ部紋可選手が第24回夏季デフリンピック競技大会 バドミントン団体で銀メダル獲得

2022年5月にブラジルのカシアスドスルで開催された聴覚障がい者の国際スポーツ大会となる「第24回夏季デフリンピック競技大会」のバドミントン競技の団体戦において、現代社会学部3年の矢ヶ部紋可選手が日本代表チームの一員として銀メダルを獲得しました。団体戦での銀メダル獲得は日本史上過去最高の結果であり、妹の真衣選手と姉妹で出場したダブルスでも4位と健闘しました。

矢ヶ部紋可選手は「このような結果を残すことができたのも、日ごろから支えてくださっている方々のおかげだと感じています。2025年の次の大会では、姉妹で再び女子ダブルスに出場してメダルを目指したい。」と次の大会での活躍を誓いました。

これからの活躍も期待しています！おめでとうございます！！



写真左／矢ヶ部紋可選手



令和3年度 学校法人筑紫女学園決算について

1 事業活動収支計算書について

事業活動収支計算書は、当該会計年度の「教育活動収支」、
「教育活動外収支」及び「特別収支」の3分類で構成され、収支のバラン
スを表すものです。企業では損益計算書に相当するものです。特に、基
本金組入前当年度収支差額は、当年度の経営状況を見る指標として重
要なもので、マイナスが大きくなるほど経営が窮迫します。事業活動収
入計は55億8,004万円余、一方、支出計は55億3,774万円余となり、基
本金組入前当年度収支差額は4,230万円余の収入超過となりました。

2 資金収支計算書について

資金収支計算書は、当該会計年度の資金の流れ及び収入・支
出のてん末を明らかにするもので、企業会計でのキャッシュフロー計算
書に相当するものです。資金収入総額は、56億1,757万円余となり、こ
れに対して資金支出総額は、52億2,255万円余で、資金収支差額は、3
億9,501万円余の収入超過となりました。この結果、翌年繰越支払資金
は、39億707万円余となりました。

3 貸借対照表について

令和3年度の貸借対照表は、令和4年3月31日現在の財政状態
を示すものです。総資産は、235億2,195万円余で前年度末と比較して
6,910万円余増加しております。学園の金融資産(現金預金及び有価証
券等)の残高は、前年度124億8,997万円余から、令和3年度は128億
2,251万円余となり、3億3,253万円余増加しております。一方、負債総額
は29億6,252万円余で前年度に比べ2,680万円余増加しています。その
結果、今年度末の純資産(資産総額一負債総額)は、205億5,943万円
余で、前年度末より4,230万円余増加しております。また、基本金は235
億1,741万円余で、前年度に比べ7,830万円余の減少となっております。

2 資金収支計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,951,567	人件費支出	3,345,096
手数料収入	59,737	教育研究経費支出	1,283,420
寄付金収入	25,352	管理経費支出	394,415
補助金収入	1,145,185	借入金等利息支出	219
資産売却収入	0	借入金等返済支出	13,500
付随事業・収益事業収入	70,442	施設関係支出	91,056
受取利息・配当金収入	90,148	設備関係支出	32,583
雑収入	241,609	資産運用支出	89,981
借入金等収入	0	その他の支出	309,691
前受金収入	274,503	[予備費]	
その他の収入	276,832	資金支出調整勘定	▲337,402
資金収入調整勘定	▲517,801	翌年度繰越支払資金	3,907,073
前年度繰越支払資金	3,512,058		
収入の部合計	9,129,632	支出の部合計	9,129,632

1 事業活動収支計算書 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	科目	金額	科目	金額
教育活動収支	学生生徒等納付金	3,951,567	人件費	3,388,801
	手数料	59,737	教育研究経費	1,646,054
	寄付金	25,991	管理経費	491,496
	経常費等補助金	1,142,924	徴収不能額等	170
	付随事業収入	70,442	教育活動支出計	5,526,521
	雑収入	226,258		
	教育活動収入計	5,476,919	教育活動収支差額	▲49,602
教育活動外収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	科目	金額	科目	金額
	受取利息・配当金	90,149	借入金等利息	219
	その他の教育活動外収入	0	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外収入計	90,149	教育活動外支出計	219
		教育活動外収支差額	89,930	
		経常収支差額	40,328	

特別収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	科目	金額	科目	金額
特別収支	資産売却差額	0	資産処分差額	10,903
	その他の特別収入	12,980	その他の特別支出	101
	特別収入計	12,980	特別支出計	11,004
			特別収支差額	1,976

科目	金額	科目	金額
(予備費)		(参考)	
基本金組入前当年度収支差額	42,304	事業活動収入計	5,580,048
基本金組入額合計	▲43,000	事業活動支出計	5,537,744
当年度収支差額	▲696		
前年度繰越収支差額	▲3,078,590		
基本金取崩額	121,301		
翌年度繰越収支差額	▲2,957,985		

3 貸借対照表 令和4年3月31日

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	19,395,413	固定負債	2,057,730
有形固定資産	10,340,552	流動負債	904,796
特定資産	8,906,438	負債の部合計	2,962,526
その他の固定資産	148,423	純資産の部	
流動資産	4,126,543	基本金	23,517,416
		第1号基本金	21,532,046
		第2号基本金	1,250,000
		第3号基本金	406,370
		第4号基本金	329,000
		繰越収支差額	▲2,957,986
		純資産の部合計	20,559,430
資産の部合計	23,521,956	負債および純資産の部合計	23,521,956

卒業生

インタビュー

Message
from
Graduates



未来への道を描いている皆さんの
背中を押してくれる
宝物になるような言葉の贈り物です。

こちらにロングインタビューを掲載しております
<https://www.chikushi.ac.jp/interview/>

挑戦する楽しさを
教わった日々が
今の私につながっている。

モデル/女優/タレント

井桁 弘恵さん

筑紫女学園大学附属幼稚園 2002年卒園





卒園時に書いた井桁さんの文集。好きな遊びは「たけうま」

一幼稚園に通っていた頃の、印象に残っている思い出を教えてください。

とにかく良い思い出ばかりで、毎日幼稚園に行くのが楽しみでした。みんなでヨモギを摘んでヨモギ団子を作ったり、バケツでお米を育てて食べたり、裏山でタケノコを掘ったり、男の子たちと一緒にミミズを捕ったり、とにかく体を動かすことが大好きでアクティブだったと思います。それから、園の恒例行事である「竹馬作り」で、父と一緒に本物の竹から竹馬を作ったのもよく覚えています。乗れるようになると楽しくて仕方がなくて、卒園してからも一人で自宅の庭で乗っていましたね。私は誰でもみんな幼稚園で乗れるようになるものだと思っていたんですが、そんなことないんだって大人になって知って驚きました(笑)。

一先生との思い出深いエピソードがあれば教えてください。

とにかくわんぱくでしたが、先生たちからは一度も「女の子なんだから」と言われたことはなく、伸び伸び育てていただきました。そういえば、ふざけて友だちをおんぶして転びそうになったことがあったのですが、そのときばかりは先生からこっぴどく叱られたんで

す。いつもは自由になんでもやらせてくださった先生が本気で叱る姿を見て「これは本当に危ないんだ」と理解したことをよく覚えています。

一当時の経験や出来事で、今につながっていることはありますか？

「やりたい」と感じたことはブレーキをかけずに全力で応援してくださったおかげで、挑戦する楽しさを学びました。裸足で山を走り回って虫を捕まえるような日常だったせいか、自然やアウトドアが大好きですね。仕事柄、虫やカエルが多い場所で撮影することもよくあるんですが、全く抵抗がないんです。躊躇なく飛び込むことができるのは、自然豊かな環境でたくさんの経験をさせてくださる園で幼少期を過ごせたからだだと思います。また、感謝の気持ちやあいさつなど、人としての基本的な部分も園でしっかり教えていただいたことが今に生きています。

一50周年を迎えたことへのメッセージをお願いします。

私が卒園した頃と比べると園舎は新しくなっているようですが、都会の中で豊かな自然を感じられる園の魅力は変わらず残っている



memories



在園中の井桁さん。周りの人も明るく照らすような笑顔は、今も変わらぬチャームポイント

んですね。安心しました。お米作りや竹馬などの学びも続いていると聞き、懐かしさとうれしさを感じます。幼稚園に通う幼少期というのは、人間としての土台が出来上がる時期でもあると思います。そんな貴重な時期を温かく見守ってくださったから、今の私があります。私が挑戦する楽しさをここで知ったように、これからの子どもたちにもぜひ、豊かな経験をしてもらえたらうれしいです。そして、100年目に向かって今後も筑女幼稚園の良さを保ち続けてください。

筑紫女学園からのお知らせ

人事

採用 (令和4年4月1日付)

●教育職員

大学

<文学部>

日本語・日本文学科	准教授	大内 英範
英語学科	准教授	Stephen Paton

アジア文化学科	講師	安 在 瑛
アジア文化学科	講師	村上 明香

<人間科学部>

心理・社会福祉専攻	教授	池田 久剛
初等教育・保育専攻	准教授	立石 泰之
初等教育・保育専攻	准教授	馬場 耕成
初等教育・保育専攻	講師	怡土 ゆき絵

高等学校

特任教諭	永末 温子
常勤講師	庄部美希子
常勤講師	定松 澄
常勤講師	山口 流正
常勤講師	平川 悦子

中学校

常勤講師	藤上 さくら
常勤講師	弓削 淳一
常勤講師	吉田 亮汰

幼稚園

常勤講師	安井 萌華
------	-------

●事務職員

法人本部事務局

財務部	部長	中村 勝幸
-----	----	-------

大学

教学支援部	主事	松島 雄大
連携推進部	主事	野上 彩
大学改革推進室	主事	井上 悠子

中学校・高等学校

主任	佐藤 豪之
----	-------

■任命 (令和4年4月1日付)

●教育職員

大学

文学部長	時里 奉明
------	-------

■退任 (令和4年3月31日付)

●教育職員

大学

文学部長	緒方 隆文
------	-------

■異動 (令和4年4月1日付)

●事務職員

大学

教学支援部	部長	田中 正人
連携推進部	部長	徳田 孝

■退職 (令和4年3月31日付)

(退職後、引き続き在職している教職員は明記しておりません)

●教育職員

大学

<文学部>

日本語・日本文学科	教授	出雲 俊江
英語学科	准教授	T.R. Honkomp

アジア文化学科	教授	喜多村 百合
アジア文化学科	講師	羅 義圭

<人間科学部>

心理・社会福祉専攻	特任教諭	針塚 進
初等教育・保育専攻	教授	板井 修一
初等教育・保育専攻	教授	古田 瑞穂
初等教育・保育専攻	准教授	平山 静男
初等教育・保育専攻	准教授	原田 博子
初等教育・保育専攻	講師	牛島 豊広

<現代社会学部>

現代社会学科	教授	速水 良晃
現代社会学科	教授	一ノ瀬 元史
現代社会学科	講師	中里 亜希子

高等学校

特任教諭	中尾 明彦
特任教諭	加来 真一
常勤講師	木村 マリカ
常勤講師	信国 沙希

中学校

常勤講師	高山 伸悟
------	-------

幼稚園

教諭	松尾 ひかる
----	--------

●事務職員

法人本部事務局

財務部	部長	濱武 文雄
-----	----	-------

理事会・評議員会

■就任 (令和4年6月1日付 ※一部別日就任)

●理事・評議員	小塩 正己
	円日 耕也

●評議員	時里 奉明
	(※令和4年4月1日付)

■退任 (令和4年5月31日付 ※一部別日退任)

●理事・評議員	佐藤 尚文
	内藤 昭文

●評議員	緒方 隆文
	(※令和4年3月31日付)

法海 ここに響くことば 27

優しさは、痛みを想像する感性だ。
その感性は、磨き続けなければ輝きを失っていく

1995年1月17日に起こった阪神・淡路大震災で被災された安井春子さんという方のことばです。安井さんは、震災で家や財産など多くのものを失われた一方で、ボランティアの方などからたくさんのお優しさと思いやりをいただいたと述べられています。そして、その思いの中で「優しさは、痛みを想像する感性」という言葉がでてきたそうです。

“優しさ”ということを考えてみると、“優しさ”とは、人の気持ちがわかることや相手の立場にたって考えられることであり、相手のことを考えているからこそ心配して厳しいことをいうという“優しさ”もあります。しかし、もしその“優しさ”が「相手の思っただけに何もしてくれない」とか、「そんなことならしなければ良かった」などと、自分が思ったような反応がなければ不機嫌になってしまうということになれば、本来の“優しさ”とは違うものになってしまうのではないのでしょうか。

仏教の教えの中にも“優しさ”を意味するような教えがあります。それは、“慈悲”という教えです。“慈”とは、“衆生に楽を与えたい”ということ、“悲”とは、“相手の痛み、苦しみを自分のこととして共感すること”です。そして、親鸞聖人は、阿弥陀仏という仏様は、いつも私の苦しみを自分のこととして感じられ、その苦しみをかかえた

あなたを救いたいと願う心を持ち、私たちにはたらきかけられているといただきました。

また“慈悲”という言葉は、もともと“慈・悲・喜・捨”という“四無量心”といわれるこの世界における仏教徒がもつべき大切な心として説かれています。人の苦しみを悲しむだけでなく、“喜”(相手の喜びをともに喜ぶ)も含め、他者のことを自分のこととして考えていくこと、そして“捨”という心が示されています。この“捨”という心は、ものごとにとらわれない平静な落ち着いた心と説かれています。つまり、四無量心として説かれる心は、すべてのもの(無量)に本当にしあわせになってほしいと思いやる“優しさ”に、自分本位の分別をつけることのない(捨)心ともいえるでしょう。しかし、私たちがこの四無量心に示されるような心で実践することは難しいかもしれませんが、少しでも相手の苦しみを悲しむことや喜びも含めて、自分のこととして想像して受け止められる心を持ちたいものです。

そして、改めて今回のことばにある“優しさ”を考えてみると、私たちの日常の身近なことから社会的な問題についても関心を持ち、いつも自分のこととして想像力をはたかせながら“優しさ”という感性が育まれていくということではないのでしょうか。